

第 56 回例会 (H28.3.4) 感想 出席者 79 名 再参加名・初参加名

アンケート回答 41 枚 (回答率 51%) ありがとうございます。

お話をきくことができ、今後現実の中で微力ながらも信念をもって、まともに向き合っ、人生を大切にしたい想いでやってゆこうと考えました。(医師)

涙が止まりませんでした。人として、人との関わりがないと成立しない世界に生きているので、支え合っ、おだやかに、まずは自分自身から生きていけるようにしないといけないなど。ありがとうございました。(OT)

普段デイケアで勤務していますが、がんで利用が中止となる利用者が少なくありません。小澤先生のお話を聞いて、もっとご利用者の話を聞くことができたのにと、利用中止となった方の事を思い出しました。ありがとうございました。(PT)

大変興味深い内容でした。ありがとうございました。援助的コミュニケーション、対人援助技術ということについては、福祉専門職の得意分野だと思います。看取り、緩和ケア、生死の境の場面となると、どうしても医療職の出番という感じがしますが、やはり多職種連携の意義、福祉職の役割はあると思います。福祉職も(もっと)頑張らしましょう。(社会福祉士・介護福祉専門員)

もっと医・介職の自尊心、支えの話しかと思っていたのですが、関係性をどううまく築いていくのか、とても具体的な方法を学べて良かった。医療・介護だけでなく、私の仕事でこれからも活かしていきたいと思います。相手が穏やかでいる時をアクセスする。それで対応を変える事ができる。キーワードが「かがやく」と「穏やか」と思いました。先生の本を読みたいと思います。(行政)

苦しんでいる人は、自分の苦しみをわかってくれる人がいると嬉しい。コミュニケーションの基本だとは思っているが、一番難しいこと、一番大切なことだと改めて思えました。苦手な人、苦手な内容から逃げず、その人の苦しみをキャッチできる様にしていきたいです。(看護師・介護支援専門員)

聞きたいと思っていたお話しが、聴くことができました。支えになることは難しいかもしれません

が、自分にできる支えを探っていきたいと思います。ありがとうございました。(看護師)

小澤先生のお話を伺うのは2回目です。先生に講演して頂けるときいて、楽しみにしていました。3つの“存在”は普段の考えの参考にさせて頂いていますが、今日はそれを強めるという視点で、今の自分にはできていないことを痛感させられました。今日のお話が私にとってカタルシスとなり、明日からの取り組みが頑張れるような気がします。(社会福祉士)

小澤先生の緩和ケア・在宅ケアに対する哲学を勉強させて頂きました。講演中に流された音楽が心にしみました。ありがとうございました。(医師)

時間がなく早口だったのですが、在宅で仕事をしているので、PTに向き合う姿勢“にげない”事を心にとめる事ができました。(介護支援専門員・社会福祉士)

仕事に活かすどころか、生きていくために活かせる大切なお話をありがとうございました。まず、今日先生のお話をきくことができていること、私の支えに気づくことができました。(看護師)

専門職としてではなく、「人として」という立場で話を聞くことができました。だからか先生のお話がとても理解しやすかったです。(その他)

とても素晴らしい講演でした。(?)

対人援助を行う時に、何か良いことを言おうと考えがちです。何と対応したら穏やかになってもらえるか、逆効果になること、とりかえしがつかなくなるのが怖いことがあります。人の言葉や態度が及ぼす影響の大きさを考えると、慎重になります。苦手意識がありましたが、今日の先生のお話を伺い、思いを傾聴するところに戻りたいと思いました。ありがとうございました。(介護福祉士)

長い間、スピリチュアルペインと精神的苦痛と、何がどう違うのか理解できなかった。スピリチュアルペインと精神的苦痛とを区別することは極

めて西欧的な考え方で、日本人にはよく理解できない理由と考えていました。本日、小澤竹俊先生の御講演を拝聴して、スピリチュアルペインというものと、それへの対応方法が少し理解が進んだと思う。この点、自分にとっては有意義な内容であった。(医師)

在宅で関わっていて、家族の支えはとても大切だと感じています。できるだけ会話をしていますが、声のかけ方、返し方に注意して行えば、もっと相手の気持ちが理解できると再認識できました。まず自分にとっての「支え」は何なのかを考えておく必要があると思った。話が聞きやすく、おもしろく、内容もとても為になる講演でした。(S T)

日本緩和医療学会や死の臨床研究会などでもいつも勉強させて頂いています。緩和ケアがまだまだ普及していないこの鳥取で、小澤先生の紹介される村田理論の概念図を利用させて頂いています。日本中で先生が啓もうされている内容、量を尊敬します。(医師)

「支えようとする私たちこそ、一番支えを必要としている」本当にそう思います。いつも迷惑をかけている家族、友人に感謝します。(介護支援専門員・社会福祉士)

「在宅患者を支えている」との思いでなく、在宅患者が今の自分を支えていると、改めて心にとめてみたいと思いました。(薬剤師)

大変勉強になりました。自分の今の仕事、人生において共感できるお話でした。最後の「逃げないで、関わり続けるためには、求められること」「支えようとする私たちこそ、一番支えを必要としている。」「穏やか」リハビリテーションに活かせる内容。(P T)

ターミナルの患者様、その家族との関わり方が今までと違った視点で話がきけて、とても勉強になりました。(薬剤師)

思いがあふれるように、語られた研修でした。最後のその時はけっしてきれいなものではないと、何度も語られたように、苦しむ人への援助に自信がもてるように、もっともっと多くのことを仲間と一緒に学べたらと思いました。(歯科衛生士)

医療従事者としてだけでなく、一人の人間として、家族や友人たちの支えになれる存在になりたいと思います。(薬剤師)

今日の講演を楽しみにしていましたが、期待どおりのすばらしい内容だったと思います。エンドオブケアだけでなく、認知症、その他すべてに通じることだと思います。その人をとりもどす、大事な、すばらしい言葉を教えていただきました。(その他)

エンドオブライフの人々に関わっていて、支える人にこそ、支えが必要ということ、なる程と思いました。又、相手を最後まで人間として尊重する気持ちが大事だと再認識しました。(医師)

今日、先生の講演が聞いて本当に良かったです。私はホスピスに関する事はないですが、今日から自分の家族や周りの人との関り、また自分との関りが少しでも良い物となりそうです。(P T)

自分の過去を振り返り、仕事に対する考え方やその“人”に向き合うことの大切さをひしひしと感じました。自分はまだまだ(いつまでたっても)…。「本当に申し訳ない」と思う今日この頃。理論じゃないな!!(介護支援専門員・社会福祉士)

対応の難しい患者さん、毎回、文句を言って帰られる患者さん、悩みをもつ患者さん、色々な方が来られますが、現実と希望の開き＝苦しみという話しをきいて、薬剤師として少しでも支えになればと思えるようになりました。“反復”“沈黙”“問いかけ”試してみようと思います。薬剤師としてできることをまた考える、いい機会になりました。ありがとうございました。大変参考になりました。(薬剤師)

死を目の前にした人の気持ちをわかろうとすることが大切と思っはいたが、実際どのように？と思っていた。私は、バリバリ仕事ができる方ではない。ただ、「あんたなら安心だ」という言葉をかけてもらえることがある。今考えると、時間がないなかでも、話しを聞く時間をとても大切にしている。自分に自信が持てないと思っていたが、今日の話しを聞いて、こんな自分でもいいのかと思った。もっともっと聴く力がつくよう意識して、患者さんと関わりを持っていきたいと思う。(看護師)

大層な事はできないが、「聴く」ことから改めて始めたい。(介護支援専門員・介護福祉士)

逃げずに関わり続ける、向き合うといった経験を重ねた数が多い程、その人の成長に結びつくと感じた。(PT)

自分を認めることをまず、行いたいと思う。丁寧に穏やかな一瞬をすごせるような関わりを念頭において、関わりたいと感じた。(看護師)

いいお話が聞けて、これからの仕事に活かしていけると思いました。患者さんの理解者になれるよう、コミュニケーション技術をもちたいと思いました。在宅看取りにたずさわってみたいと思った。(看護師)

常にどう声かけをしたらいいか、戸惑ってしまい、結局何も言えない場合が多々ありました。まずは、反復から実践していきたいと思います。(看護師)

理解しやすい講演でした。日々、対応に悩んでいる事に、とても参考になりました。これからも自分に自信を持って、ケアをしていけたらと思わせてもらいました。ありがとうございました。(看護師)

大変勉強になりました。支えに気付くことの大切さ、よくわかりました。沢山、大切なことを教えていただきました。本日、先生に出会えて良かったです。このような機会をいただけて、とても嬉しく思います。ありがとうございました。キャッチ、実践出来るよう頑張ってみます。(その他)

良いお話でした。自分には無理ですが。(医師)

感動的な講演でした。感性を大切に、今後少しでも理解者となれるようになりたいです。(PT)

超感動しました。「支えようとする自らの支えを知る」を目指していきたいものです。(歯科医師)

一つのテーマ(今回は看取り)に対しても、いろいろな見方ができるものだなと、再認識しました。(医師)